

すずらの里



題字
古川サチ子さん(入所者)

2008年 6月号 No. 87

発行者

〒869 - 5161
八代市葭牟田町435番地
特別養護老人ホームすずらの里
Tel 0965-39-7511
Fax 0965-39-7512
施設長 福田道子

南国気分!

フラダンス



梅雨が近づきつつある五月二十八日
(水)にフラダンスの慰問がありました。

始めに、皆さんもよくご存じの「憧れのハワイ航路」の曲に合わせたダンスが披露され、殆んどの方が声を出して歌われ手拍子されていました。



癒しの音楽フラダンス

前月号の広報誌から「すずらの里」という題字を古川サチ子さん(64)に書いていただきました。
「字を書くのは好き」と毎日の出来事や、面会に来られた方々の事を日記につづつておられます。
今回、題字を依頼すると快く引き受けて下さり「クレヨンが書きやすい」と納得のいくまで何枚も書かれました。

一階入所者の岩本カツ子さん(77)は「よかねめつたに聞かれんばい」と言われ、フラダンスの手の動きをされ一緒に踊っていました。
まるで、ハワイにいるような気分になる心地よい音楽や踊りに、皆さん笑顔で楽しまれていました。

介護職員 大岩由梨

長寿のミセス

今月は、中島ミツエさんを紹介しました。

中島さんは、このすずらの里一番の御長寿で今年、百三歳を迎えられます。

長寿の秘訣を聞いてみると「三十年間力仕事をしてきたお陰かな、やっぱり何でも食べる事と力をつける事は大事よね」



と八キ八キと笑顔で話してくださいました。

平日頃から体を動かされる中島さんは、オリジナルの体操やマツサージをされており、それが元気の源になっているのだらうなと感心しています。これからも、記録更新を目指して長生きしてくださいね。

介護職員 大岩由梨

祝 おめでとうございませ
～6月の誕生者～
堀本 ハツヨ様
(T 5.6.20 92歳)

ありがとうございました

岩本様(北原町)より、たくさんのイチゴを頂きました。「あまくておいしい」と利用者の皆さん喜ばれました。



栄養満点



～栄養部便り～
ソフト食の導入（最終回）

これからの献立に取り入れる予定の高齢者ソフト食メニューを紹介します。

高齢者ソフト食とは、刻み食の代わりとなり、安全で見た目もよく、美味しい食事を提供するために宮崎県在住の管理栄養士黒田留美子先生が考案されたものです。

参考文献：高齢者ソフト食 黒田留美子 2001
株式会社厚生科学研究所



おはぎ（作り方）

お米は2倍量の水で炊き、炊く時に2%のゼラチンパウダーを加えることで飲み込みやすい状態に仕上がります。

ゼラチンを加えたごはんをつぶすことで、本来のおはぎと同様のモチモチとした食感が楽しめます。こしあんを使用することで、スムーズに飲み込めるようです。

私は誰でしょう？



ヒント； これは、私が3歳の七五三の時に撮った写真です。結構、その頃からおてんばだったみたいで七五三の前日に自分で前髪を切ってしまいました。

いつも元気に2階で仕事しており、パワーでは男性職員に負けない自信があります。

* 5月号の正解は、
塩塚てるよ さんでした。



ホームページをリニューアルしました。
アドレス <http://www.tenryuukai.jp/>

今月号では、事務所横に展示してある高さ90cm x 横117cmの水墨画を紹介します。

すずらん
ギョウリ
（施設探訪）



この水墨画は以前、入所されていた方のご主人の作品で、日本三大急流のひとつ、球磨川の風景です。
絵のタイトルは「弧舟の太公望」と言い、球磨川が山間を流れ下りゆっくりと遙拝（ヨウハイ）から不知火海に流れつくのを表した作品です。とても繊細に描いてあり、平成十一年に寄贈して頂きました。

介護職員 小川雄二

広報誌における写真や記事は個人情報保護法に基づき本人およびご家族の承諾のうえ掲載しています。